

○発表者3 ライフサポートはる ジョブサポートそら 川原はるかさん

就職に向けて2年間「ライフサポートそら」で訓練を行っている。現在訓練では肥料を製造する工場、製袋作業をしている。

この2年間で作業能力は身につけてきたが、他の人とのコミュニケーションには不安がある。そこで、人との関わりについて心理学の講習について学び、相手と適切な距離をとって上手に関わることを学んでいる。

現在は「そら」の利用者、支援者の方と、就職をして一人暮らしをし、お菓子を作る仕事をしたいという目標に向けてがんばっている。

○助言者 佐賀大学附属特別支援学校 進路指導主事 水落 剛宏 先生

仕事をしていると嫌なこともあると思うが、自分なりの楽しみを見つけてリフレッシュをして、次への仕事の意欲へとつなげていることは素晴らしいと思う。

自分なりの夢を持つことが、安定して長く仕事を続けることにつながる。また、家庭での生活をきちんと過ごすことも大切になってくると思う。

3人の発表を聞いて、社会の中で自分らしく生き生きと生活しながら、職場・家庭・仲間の中での自分の果たすべき役割に向かって努力をしていっている様子がうかがえた。

この会に参加してみなさんからパワーをもらった。キャリア教育においては、自分の役割をしっかり果たすことができる大人になるということを目指しているが、社会で働くことの大切さを、現在学校で学んでいる子どもたちにしっかり伝えていきたいと思う。

○質疑応答 (Q・A) 及び 意見交換 (op)

Q：仕事が休みの時に楽しいことはなにか。

A：好きなアイドルのDVDを見ること。
(尾崎さん・入江さん)

A：ケーキを作ること。(川原さん)

Q：仕事で今までで一番苦労したことは何か。

A：特にはない。(尾崎さん・入江さん)

A：暑さに慣れることに苦労した。(川原さん)

Q：音楽は何が好きか。

A：嵐と西野かな(尾崎さん)

A：嵐(入江さん)

A：ファンキーモンキーベイビーズ(川原さん)

op：ハワイに行くことを夢に自分は毎日がんばっている。

Q：どんなケーキを作るか。

A：ペイクドケーキやチョコケーキを作る。
(川原さん)

op：かんかんつぶしと菜の花のごみとりの仕事を自分もがんばっている。

Q：給料としてもらったお金の使い道はどうしているか。

A：貯金をしたり、CDを買ったりしている。
(尾崎さん)

A：主に貯金をしている。(入江さん)

A：おしゃれに使っている。(川原さん)

Q：仕事が休みの時は、何をしているか。

A：好きなアイドルのDVDを見る。(尾崎さん・入江さん)

A：自分の部屋の掃除をしたり、友人と遊んだりして過ごす。(川原さん)

op：私も音楽を聞いたり、毛糸を編んだりする趣味を楽しんでリフレッシュしている。

op：私の夢はパティシエになることだ。がんばってケーキを先日作ることができた。

平成26年度 佐賀県手をつなぐ育成会講演会の報告

期 日：平成26年7月27日 10:00~12:00

場 所：有明スカイパークふれあい郷「自有館」

「総合支援法の平成26年4月施行分における注意点」と題して、前「手をつなぐ」編集委員の又村あおい氏から講演をいただき、従来の自立支援法からの変更点として障害程度区分について解説していただき、「以前の区分では、知的・発達障がいの人の実態を把握できていなかった」として、本人の特性に応じて必要な支援の度合いをみる「障害者支援区分」に変更し、適切に判定される様配慮が義務付けされたことなどのお話がありました。

また、市町がサービス支給を決定する上で必要となる「サービス利用計画」に伴う「セルフプラン」についての説明をされ、会場から時機を得た多くの質問が出されました。

※講演会資料に余部があります。資料を希望される方がいらっしゃれば、実費(100円)で頒布します。(事務局)

